

地域と家庭と学校が一つになって子どもを育む…それが“チーム七小”です！



# くさぶえ

福生市立福生第七小学校

令和7年度 学校だより

2月号

福生第七小学校

ホームページ

URL



<https://fussa-7e.hs.fussa.school/>

所在地 福生市北田園一丁目1番地1

発行責任者 校長 菅野 恭子

令和8年1月31日 発行



## 素直さは 最大の 知性

校長 菅野 恭子

立春を目前に暖かい春が待ち遠しい日々の中、子どもたちは寒さにも負けずたくましく学びに励んでいます。おかげ様で今のところ、感染症等による学級閉鎖をせずに教育活動を行えています。学校でも気を付けていますが、家庭での健康管理等ありがとうございます。

「一月往(い)ぬる二月逃げる三月去る」というように3学期は行事もある中で、まとめ・引継ぎ・次への準備と、あつという間に時間が過ぎる感覚があります。校内では6年生は卒業を目前に小学校生活を振り返り、今だからこそできることを考え実行に移しています。5年生は来年に最高学年を迎えるにあたり、縦割り班や委員会、クラブ活動等において引継ぎが始まっています。他の学年も4月からの学習、生活面での振り返りとまとめを行いながら次の学年を意識した学校生活を送っています。今の学年・学級で過ごせる日も終わりが見えてきました。一日一日を大切に過ごしていきます。

### 素直さは 最大の 知性

これは、20世紀最大の科学者の一人であるAINシュタインの言葉と言われ、困難を乗り越えながら道を切り拓いた人たちが話題にする言葉です。「新しい情報や他者の意見を謙虚に受け入れ、変化に対応できる柔軟な姿勢こそが『眞の知恵』であり、自己成長や時代適応のために最も重要な能力である」という意味です。



この言葉をテーマにして、1月の全校朝会で話をしました。理由としては、今年度、七小の子どもたちが全校朝会等の校長講話を聞いた後に、すぐに実践に移す姿が多く見られたからです。「言われたことだけではなく、より良くなるように自分で考えて提案・実践する姿」について話をしたときには、その週のうちに考えをまとめて校長室へ相談をしに来た子どもたちや「礼儀の大切さ」について話したときには、その後から挨拶の仕方やすれ違うときの所作が変わるなど、話の内容をよく考えながら聞き、自分に生かそうとする素直な姿勢がどの学年でも見られ、大変素晴らしいとほめました。

年明けの1月15日には、教育委員訪問がありました。子どもたちは3学期になりまだ1週間しか経っていない時期でしたが、各クラスの授業の様子を参観していただきました。その感想として、「子どもたちが授業に集中し、落ち着いて学んでいる姿」や「先生方が子ども一人一人をよく見て丁寧に指導している姿」、「丁寧な書字」、「学びの過程や児童の頑張りが分かる整った教室環境」等、大変良かったとのお話をしました。校内では教職員同士で子どもの成長を実感していましたが、第三者からも同じように見ていただいたことから、子どもたちの成長を改めて感じました。



子どもたちに話すと内容が心にしみわたるように伝わっていく姿を見て、各学級で教職員が機会あるごとに話題にしながら意識を高めているだけでなく、各ご家庭でも保護者の方々が一緒にになって子どもと話をしてくださっているからこそだと思っています。学校で話すことを家庭でも一緒にになって話すことが子どもの心の育成に大きくつながります。ご支援ありがとうございます。引き続き、ご協力をよろしくお願ひします。

### 興味あること 得意なことを存分に

夏休み号にも掲載したように、一生懸命に努力する姿は全て美しく大変価値あるものと話す中で、「得意・不得意に気付く」「得意を伸ばす・生かす」

「不得意に向き合う」「新しいことに挑戦する」「過程を楽しむ」「結果を喜ぶ・受け入れる・次につなげる」等を大切にしながら教育活動を実施しています。学校では、都や市が主催する展覧会等での表彰の他にも、学校外で力を発揮し、表彰された子どもたちを学校でも定期的に表彰しています。



#### 1月の全校朝会

様々な表彰を行った一幕。みんなで大きな拍手で賞賛しました。

都や市で展覧会等がある絵画（ポスター含む）、書写、標語の他、体操、空手、バレーボール、乗馬、マラソンなど、多岐に渡る表彰を行っています。表彰の際には内容の説明も行うため、見ている子どもたちにとっても新しい情報となっています。校内にて様々な活躍の場を引き続き展開するとともに、様々な場で活躍した子どもたちの頑張りを大いに評価し価値付けていきます。